

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会

平成30年度 社会福祉法人魚津市社会福祉協議会 事業報告

経営重点目標

- 1 安定した法人経営と地域から信頼される組織づくり
- 2 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり
- 3 地域住民が自立した生活を送ることができるための権利擁護体制の構築
- 4 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施
- 5 地域福祉の拠点施設としての機能の拡充

取組み状況

少子・高齢化の進行、認知症高齢者の増加や一人暮らし高齢者世帯の拡大、地域社会や家庭の機能が大きく変容していく中で、様々な分野の課題が絡み合って複雑化し、世帯単位で複数分野の課題を抱えるといった状況が生じてきています。

こうした複雑多様化している課題に対して、高齢者、障がい者、児童、生活困窮者といった区別なく、地域に暮らす誰もが、地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け、包括的な支援体制の構築が必要となっています。

こうした状況の中、本会では「第4次魚津市地域福祉活動計画」及び「中期経営計画」を基本に、各事業を推進しているところです。平成30年度の各事業の実施状況は以下のとおりとなっています。


主な活動及び事業

1 地域福祉拠点 (収入額：176,918,812円 支出額：174,472,189円)

1 法人運営事業サービス区分 (収入額：96,080,840円 支出額：96,080,840円)

(1)法人運営事業		予算額 21,568,000 円	収入額 19,492,919 円	支出額 19,492,919 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○組織の機能強化と職員の専門性を生かす人材育成に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係部署による個別ニーズに対応したケース検討会を実施し、職員一人ひとりの資質向上を図るとともに、部署間の連携強化に努めます。 ・各種研修会に積極的に参加し、専門的な知識を身につけます。 	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化、深刻化する利用者の生活課題への対応強化として、地域福祉課、居宅介護支援事業所及び他の福祉法人の職員を交え個別事例検討会を月2回開催しました。また、社協内の障がい児(者)に関わる事業所職員の合同研修会を年5回開催し、障がいのある人たちのライフステージに応じた支援を検討しました。 ・県、県社協(福祉カレッジ)主催の研修会に参加し、専門的知識の習得に努めました。 		<p>市町村社協中堅職員研修 福祉職員キャリアパス研修 強度行動障害者支援者養成研修 苦情解決受付担当者研修 コミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ研修</p>
<p>○全職員がやる気や向上心を持って働けるよう職場環境・雇用環境の整備に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断による職員の健康状態の把握に加え、職員の腰痛予防に関する取組みを強化します。 ・第3期一般事業主行動計画に基づき、子ども参観日を開催するほか、職員が家庭と仕事を両立できるよう支援します。 	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生委員会において健康診断結果の概要(有所見者数、有所見率)やストレスチェック結果(要因、対応、周囲からのサポート状況)を把握し、改善への取組みを協議しました。 ・介護事業職員を対象に腰痛予防健康診断を実施するとともに、全職員(希望者)を対象に腰痛肩こり予防体操を実施しました。 		<p>衛生委員会開催-年12回 腰痛肩こり体操-年2回 (10/17 10/26開催)</p>
<p>○法令順守を徹底し、地域住民から信頼される法人経営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法律等の改正についての情報収集に努め、諸規程やマニュアルの迅速かつ適切な見直しを行います。 	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・改正労働基準法の施行並びに雇用実態に合わせた就業規則の一部見直し、新たな就業規則の制定を行いました。また、振興基金運用規程、給与規程についても所要の見直しを行いました。 		
<p>○安定した財源の確保と健全な財政運営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民会費や寄付金等の使途の透明化と効果的な地域還元を努めます。 ・安定した事業収入の確保に努め、法人の経営状況・財務状況の正確な把握と分析に努めます。 ・管理職を対象に経営的な視点に立った事業展開ができるよう勉強会を開催します。 	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・本会事業を住民参加、協力、支持で推進していく上で必要不可欠な会費、寄附金について地区で活動する団体等へ還元しました。 ・昨年12月に各部門から選定した職員で法人の事業状況や財政状況を知る研修会を開催し、今後の経営課題等の共有を図りました。次年度はより具体的な経営改善と強化に向け、取り組むこととしました。 		<p>タスクフォースの開催 第1回 12月19日 第2回 1月16日 第3回 2月14日</p>

(2)社会福祉事業振興基金運営事業		予算額	0 円	収入額	0 円	支出額	0 円
年度計画				30年度事業報告			
事業内容等		実施時期・目標等		主な取組み等		実績等	
○元本安全性の確保、運用収益の最大化を踏まえ確実に運用します。		積立予定額：10万円		・社会福祉の振興と地域福祉の増進を図る資金であり国債と定期預金で運用しました。今年度は10万円の積立てを予定していましたが、財源捻出が困難であり見合わせました。 ・2月の理事会で基金名称を「社会福祉法人魚津市社会福祉協議会福祉振興基金」に変更しました。		※平成30年度末残高 国債(第144回) 76,280,624円 国債(第10回) 22,308,848円 定期預金① 75,000,000円 定期預金② 7,556,940円 計 181,146,412円	
(3)地域包括支援センター介護予防支援事業		予算額	20,100,000 円	収入額	18,804,596 円	支出額	18,804,596 円
年度計画				30年度事業報告			
事業内容等		実施時期・目標等		主な取組み等		実績等	
○本会職員が市地域包括支援センターに出向し、要支援者・介護予防、生活支援サービス事業対象者に対するケアプラン作成と給付管理を行います。		通年 本会職員4名出向 (出向職員1名減)		・介護支援専門員の資格をもつ職員4人が、市地域包括支援センターに出向し、要介護状態への移行を予防する観点から介護予防マネジメントを行いました。また、介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する予防プラン作成を行いました。			
(4)介護認定調査受託事業		予算額	5,970,000 円	収入額	5,948,734 円	支出額	5,948,734 円
年度計画				30年度事業報告			
事業内容等		実施時期・目標等		主な取組み等		実績等	
○本会職員が市社会福祉課に出向し、要介護認定申請者の自宅等を訪問し、心身等の状態を確認し調査票のまとめ等を行います。		通年 本会職員2名出向		・職員2人が市社会福祉課介護保険係に出向し、介護認定調査員として、要介護認定申請者の自宅や入所中の施設、入院中の病院を訪問し、調査項目に従い心身の状態について聞き取りや確認による調査票の作成等を行いました。			
(5)退職共済積立事業		予算額	29,619,000 円	収入額	29,606,490 円	支出額	29,606,490 円
年度計画				30年度事業報告			
事業内容等		実施時期・目標等		主な取組み等		実績等	
○全国社会福祉協議会が運営する退職手当積立基金制度に加入しており、将来の退職手当給付に充てるための資産確保に努めます。		通年		・正職員51人分の掛金納付や退職年金受給者1人分の支給手続きを行うとともに、全国社会福祉協議会からの積立基金加入状況や資産運用状況等の報告を注視しました。		※平成30年度末の状況 掛金累計額 140,944,770円 退職金要支給額 162,147,820円	

(6)中期経営計画推進事業		予算額 235,000 円	収入額 98,472 円	支出額 98,472 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○中期経営計画の進捗状況を管理するとともに、施設の整備について検討します。		委員会開催：年5回	・計画2年目として、前年度の取組みから見えた課題や評価を踏まえ改善事項に取り組みました。 ・本計画とともに経営改善の取組みが急務となっており事業展開、財務の見直しを次年度より確実に取り組むこととしました。	中期経営計画推進委員会の開催 8月31日
(7)イメージキャラクター制作事業		予算額 917,000 円	収入額 917,949 円	支出額 917,949 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○ホームページやグッズ、印刷物等でイメージキャラクターを使用し、啓発活動に努めます。		通年	・イメージキャラクター「うおっしゃくん」の着ぐるみが完成し、社会福祉大会でのお披露目を皮切りに、魚津市長表敬訪問、児童センターまつりでの活用のほか、魚津市や他団体のイベントにも参加しPR活動に努めました。 ・封筒や印刷物に使用し、周知に努めました。	
⑧(新)会館建設事業		予算額 21,212,000 円	収入額 21,211,680 円	支出額 21,211,680 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○様々な人や情報との出会い、多様な活動を通じて喜びや生きがい、楽しみを見つけられる地域福祉の拠点の整備に努めます。 ・魚津市を筆頭に民間団体も含め、建設費助成の要請、調査を積極的に行います。			・8月の中期経営計画推進委員会で会館建設構想(案)を提示し承認をいただきました。 これを受け、10月に魚津市長並びに魚津市議会に対し会館建設への理解と整備費用の支援について要望書を提出しました。	要望書の提出 10月24日 (出席者) 本会会長、副会長 市老人クラブ連合会会長
2 魚津善意銀行事業サービス区分 (収入額：円 支出額：円)				
(1)魚津善意銀行事業		予算額 5,265,000 円	収入額 5,443,791 円	支出額 3,159,994 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取組み等	実績等

○市民の皆様からの善意を、寄附金や寄附物品としてお預かりし、地域での様々な福祉活動に還元します。	随時	・市民の皆様からの善意を、寄附金や寄附物品として受付し、福祉団体への活動助成金やサロン活動の助成金として地域での福祉活動に還元しました。 ・寄附金が減少傾向にあるため、社協だより3月号に掲載し、周知を促しました。	一般寄付 111件 2,937,607円 指定寄附 12件 650,000円 物品寄付 6件
--	----	---	--

3 地域福祉・ボランティアサービス区分（収入額：44,866,629円 支出額：44,866,629円）

(1)見守りネットワーク推進事業		予算額 2,700,000 円	収入額 2,700,000 円	支出額 2,700,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
○見守り活動を通じて、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援します。 ・地区社協や民生委員児童委員との連携を強化し、支援体制の整備を進めます。 ・福祉推進員の役割や活動内容についての研修会を開催します。	新任福祉推進員研修会 4月26日（木）	<ul style="list-style-type: none"> 福祉推進員による一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の見守りを実施しました。（福祉推進員 310人） 新任福祉推進員を対象に福祉推進員の目的、役割や活動内容について研修会を開催しました。 13地区ケース検討会を開催し、地区社協、民生委員児童委員、福祉推進員、関係機関との連携強化を図りました。 福祉推進員と民生委員の連携及び活動記録表の保管方法が異なる地区への対応を検討しました。 		新任福祉推進員研修会 （4月26日（木）35人参加） ケース検討会28回開催
(2)地域住民グループ活動支援事業		予算額 3,995,000 円	収入額 3,899,000 円	支出額 3,899,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
○地域における集いの場を設け、高齢者や障がい者、或いは、子育て中の方の孤立防止、仲間づくり、心身の健康維持（介護予防）を促進します。 ・サロンに出向く回数を増やし、様々な地域のニーズ把握に努めます。 ・ボランティアやリーダーとなり得る地域人材の発掘と育成を行います。 ・講師派遣やレクリエーション用品の貸出と整備を行い、サロン活動を支援します。	目標サロン設置数：94ヶ所 サロン代表者研修会：年2回開催 レク用品貸出：通年 サロン講師派遣：通年	<ul style="list-style-type: none"> 市内88ヶ所のサロンに対し、サロン代表者向けの研修会の開催、運営に関する相談や情報提供・活動助成を行いました。 地域福祉課職員がサロンに出向き、運営上の困りごとや地域のニーズ把握に努めました。 レクリエーション用品の貸出し等を行い、各サロンが円滑に活用できるよう支援しました。 		合計会員数 2,109人 合計開催回数 1,168回 合計参加者数 13,498人 代表者研修会 9月5日（水）90人参加 2月27日（水）99人参加 出向いた件数 99件 レクリエーション用品貸出件数 88件
(3)地域総合福祉推進事業		予算額 5,286,000 円	収入額 4,921,386 円	支出額 4,921,386 円

年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○誰もが住み慣れた地域で安心して生活が送れるように住民と共にニーズを把握し、地区社協と連携し生活課題を解決できるように支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアネット活動の周知徹底とケアネット活動チーム増加を目指します。 ・多職種・多機関との連携による地域の支え合い助け合いの理解と意識の向上を図ります。 ・第4次地域福祉活動計画の推進と進捗状況を管理します。 	<p>地区社協会長・事務局長会議（年4回） 活動計画推進委員会（年2回）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協会長・事務局長会議を4回開催し、地域福祉活動に関する情報交換を行いました。 ・13地区社協役員等の先進地視察として、「地域包括ケアと新総合事業のプロセス」について研修しました。 ・社協居宅介護支援事業所、他福祉法人の介護支援専門員を交えた個別課題と支援方法の事例検討会を月2回開催しました。 ・第4次地域福祉活動計画について、委員会を2回開催し、本会の計画及び地区社協の計画（小地域）の進捗状況の点検・評価を行いました。 ・ケアネット活動を推進するため、地区での説明を行いました。 	<p>上越市視察研修 （10月30日 参加者16人）</p> <p>事例検討会の開催-21回 （H30.9～H31.3）</p> <p>活動計画推進委員会 （5月21日 11月20日）</p>
(4)地域福祉強化事業	予算額 15,239,000 円	収入額 14,906,096 円	支出額 14,906,096 円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターの専門職を配置し、福祉課題解決に取り組みます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターの専門職を配置し、地域住民やボランティア、地区社協、民生委員・児童委員及び行政等と連携し、地域福祉を進める上での課題解決に取り組みました。 	<p>ケアネット活動の推進 いきいきサロンの活動支援 ボランティア活動に関する 相談支援・情報提供等</p>
(5)生活支援コーディネーター活動事業	予算額 7,329,000 円	収入額 7,281,249 円	支出額 7,281,249 円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○生活支援コーディネーターを3人配置（第1層1人、第2層2人）し、地域における生活ニーズを把握するとともに、地域の実情に応じた生活支援サービスを創出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会などにより関係機関とのネットワーク構築を図ります。 ・企業や社会福祉法人による地域貢献活動の促進を図り 	<p>事例検討会（月2回） 養成研修会（9月～11月 9回）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旧経田福祉センター活用案検討委員会に出席し、ミニデイサービス事業の介護予防事業、コミュニティカフェなどのあり方について、地区委員と継続的に協議しました。 ・魚津市生活支援・介護予防サービス体制整備協議体モデル事業に基づく視察研修会の企画・調整を行 	<p>検討委員会参加-4回 （4/20、5/9、6/21、9/19）</p> <p>視察研修-3回 （6/4、8/29、10/31）</p>

ます。 ・養成研修を開催します(第3層コーディネーターの人材発掘・育成等)			いました。 ・「地域の居場所づくり」研修会を開催しました。 ・魚津市生活支援・介護予防サービス体制整備協議体会議に出席し、地域づくりの提言を行いました。	研修会開催-1回 (3/8-ありそドーム) 協議体会議参加-1回 (11/19-魚津市役所)
(6)買い物サービス支援事業		予算額 250,000 円	収入額 250,000 円	支出額 250,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
○買い物の課題に対して、地域住民による買い物支援を 実践し福祉のまちづくりを推進します。 ・現在実施の大町地区社協、片貝地区社協、西布施地区 社協の活動を支援します。	市場形式：大町 移動注文販売形式：片 貝 乗合買い物タクシー： 西布施	・地域の特性に合わせた買い物支援対策を継続実施 しました。 ・この取り組みに対して、「月刊福祉2018年8月号 (全社協発行)」等の取材や、県内外からの視察があ りました。また、地域包括ケア推進県民フォーラム で取組み内容を報告しました。	大町地区：1,164人 片貝地区：638人 西布施地区：95人 (前年度) 大町地区：1,450人 片貝地区：694人 西布施地区：98人	
(7)障害者移送支援事業		予算額 5,552,000 円	収入額 5,292,542 円	支出額 5,292,542 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
○専用特殊車両を用い、自力での移動が困難で常時車椅子 を利用する方の移動を支援します。 ・移送サービスを行うすべての職員を対象に車椅子操作 の技術向上を図るため、車椅子の取扱や注意点を学ぶ 研修会を開催します。	通年	・専用特殊車両を用いて、自力での移動が困難で常 時車椅子を利用する方の通院等の支援を行いました。	H30登録者数-26名 H30延運行回数-672回 月平均運行回数-56回 (一日平均2.8回)	
(8)ひとり暮らし高齢者給食サービス事業		予算額 861,000 円	収入額 861,000 円	支出額 861,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	

<p>○ひとり暮らし高齢者等に対し、調理ボランティアによる手作りのお弁当を、民生委員・児童委員等が見守りを兼ね配食することにより、その高齢者の自立生活を支援します。</p> <p>・研修会を年2回開催し、調理ボランティアの交流と資質向上を図ります。</p> <p>・代表者連絡会を年2回開催し、グループ運営の側面的支援を行います。</p>	<p>目標提供数：1,450食 上中島：435食 上野方：345食 経田：670食</p>	<p>・調理ボランティアが作ったお弁当を届けながら、ひとり暮らし高齢者等の安否確認と孤独感の解消を図りました。</p> <p>・調理ボランティアを対象とした研修会、ボランティアグループ代表者連絡会の開催、グループ運営に関する相談などを通じ、ボランティア活動の支援に努めました。また、配食対象者の選定について魚津市と協議しました。</p>	<p>研修会-2回 (6月18日 20人参加) (11月21日 20人参加)</p> <p>代表者連絡会-2回 (9月26日 3月15日)</p> <p>延食数：1,346食 上中島：387食 上野方：285食 経田：674食</p> <p>(前年度実績) 延食数：1,423食 上中島：425食 上野方：333食 経田：665食</p>
<p>(9)ファミリーサポートセンター事業 予算額 3,953,000 円</p>		<p>収入額 3,785,356 円</p>	<p>支出額 3,785,356 円</p>
<p>年度計画</p>		<p>30年度事業報告</p>	
<p>事業内容等</p>	<p>実施時期・目標等</p>	<p>主な取組み等</p>	<p>実績等</p>
<p>○地域において育児の援助を行う者と育児の援助を受けたい者を組織化し、相互援助活動により保護者等が仕事と育児を両立し、安心して働くことができるよう支援します。</p>	<p>目標預かり件数 35件 講習会：3回 交流会：1回</p>	<p>・利用に関するコーディネートを行うとともに、会員や子育てサロン担当者、住民を対象とした研修会を開催しました。</p> <p>・生後4ヶ月～小学校6年生までの子どもの日曜・祝日などの保育、保護者等の病気や育児疲れ、冠婚葬祭時などの支援を行いました。</p>	<p>協力会員 21人 利用会員 98人 (うち両方会員2人) 相談援助活動の調整件数 85件 会員研修会-3回 (7月12日・19日・30日)</p>
<p>(10)ボランティア活動事業 ボランティアセンター運営事業 予算額 570,000 円</p>		<p>収入額 570,000 円</p>	<p>支出額 570,000 円</p>
<p>年度計画</p>		<p>30年度事業報告</p>	
<p>事業内容等</p>	<p>実施時期・目標等</p>	<p>主な取組み等</p>	<p>実績等</p>
<p>○ボランティアニーズの受付調整を行い、ボランティア活動への参加を促進します。</p> <p>・ボランティアに関する情報収集・発信を積極的に行います。</p>	<p>V養成講座：2回 交流会：1回 運営委員会：1回 福祉教育実施件数：13</p>	<p>・ボランティアニーズの把握のほか、安心してボランティア活動ができるようボランティア活動保険の加入手続きを行いました。</p> <p>・暮らしのあったか応援隊養成講座では、「傾聴」を</p>	<p>相談・問合せ件数：1,022件 ボランティア登録状況 個人：53人 団体：86団体</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の開催や福祉教育を通してボランティア交流活動の機会の提供を図ります。 		件	<p>テーマとし、福祉人材・ボランティア活動者の育成に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター登録者の交流会のほか、ボランティアサポーター研修会、災害救援ボランティアリーダー研修会並びに災害ボランティアセンター設置訓練を開催しました。 ・福祉教育講座として、松倉小学校4年生対象の点字教室や、加積寺子屋教室の車椅子バスケットボール・ボッチャ体験などの講座を開催し、福祉の学びを支援しました。 	<p>(団体延人数 2,637人) 全体登録者数：2,690人</p> <p>(前年度実績) 相談・問合せ件数：1,163件 ボランティア登録状況 個人：75人 団体：107団体 (団体延人数 3,815人) 全体登録者数：3,890人</p>
(10)ボランティア活動事業 福祉教育地域指定推進事業		予算額 100,000 円	収入額 100,000 円	支出額 100,000 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○福祉のこころをはぐくみ、福祉についての理解を深め、関わる実践力が身に付くよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会等の多様な社会資源と協働し、地域の住民と共に地域に根ざしたボランティア体験学習・活動を推進します。 		<p>通年 2年間の指定(2年目)</p> <p>松倉地区にて実施</p>	<p>・地区社会福祉協議会等と協働し、「松倉もちより市」にて、子どもを含む住民が地域の文化について理解を深める行事を開催しました。</p>	<p>行事の開催(2回)</p> <p>8月12日 12月22日</p>
新 (11)福祉教育サポーター養成確保事業		予算額 300,000 円	収入額 300,000 円	支出額 300,000 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○福祉のまちづくりを推進する人材を養成確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育サポーター設置検討委員会において、人材養成・確保について検討します。 ・福祉を理解し、地域で活躍する福祉教育サポーターの養成講座を開催します。 		<p>委員会(年4回)</p> <p>養成講座(8回コース)</p> <p>7月～10月予定</p>	<p>・前年度の学校での福祉教育(福祉活動)に関する調査結果に基づき、課題を共有するとともに、今後の実施方法について、学校・地域・関係機関の役割を踏まえ検討しました。</p>	<p>委員会(3回)</p> <p>11月21日</p> <p>1月28日※研修会を兼ねる</p> <p>3月13日</p> <p>研修会(1回)</p> <p>福祉教育まちづくり講座</p> <p>1月28日 新川文化ホール</p>

4 総合福祉相談事業サービス区分（収入額：7,450,661円 支出額：7,450,661円）

(1)総合福祉相談事業		予算額 240,000 円	収入額 240,000 円	支出額 240,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
○心配ごと、悩みごとに関する様々な相談に対して、社協の関係部署等との連携を取りながら必要な福祉サービスに関する情報提供や助言を行うとともに、相談者が求める最適な関係機関等に繋がります。	通年	・生活に関する様々な相談に対し、関係機関と連携しながら、継続的な支援を行いました。		心配ごと・悩みごと相談 相談件数 977件 (前年度 224件)
(2)日常生活自立支援事業		予算額 6,137,000 円	収入額 5,979,661 円	支出額 5,979,661 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
○認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス利用援助と利用者の権利擁護に努めます。なお、判断能力の低下により、本事業での支援が困難となる利用者に対しては、成年後見制度への移行を検討する必要があることから、家族や行政等と十分な相談支援を行います。 ※参考 平成30年3月末の利用者54人（男性26人・女性28人） 認知症高齢者19人 精神障がい者27人 知的障がい者2人 その他6人 施設入所・入院38人 在宅16人	通年 支援員研修会1回	・利用者の判断能力に応じた支援方法を検討し、主体的に金銭管理に取り組めるよう支援を行いました。 ・福祉サービス利用手続きや公共料金の支払いなど利用者の生活状況に応じて支援しました。利用者の意向を確認しながら、年間を通じた生活費増減を把握し、見通しをもった金銭管理など支援に努めました。		相談援助件数 1,931件 (認知症高齢者477件、知的障がい者245件、精神障がい者1,048件 その他161件) 新規契約締結 7人 契約終了者 5人 ※H31.3月末利用者55人 (男性26人 女性29人) (認知症高齢者20人 知的障がい者4人 精神障がい者25人 その他6人) 施設入所・入院44人 在宅11人
(3)生活福祉資金貸付事業		予算額 458,000 円	収入額 431,000 円	支出額 431,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
○低所得世帯、障がい者又は高齢者が属する世帯に対して、資金の貸付けと必要な相談支援を行い、その経済的自立を図り安定した生活を送れるよう支援します。借受人の償還状況について県社協から定期的に報告を受けるとともに、滞納者に対しては電話や自宅訪問を行い生活	通年	・生活福祉資金に関する相談を受け、関係機関との貸付調整・申請を行いました。 ・借受人の償還や現状に関する相談を受け止め、民生委員・児童委員と連携し、積極的かつきめ細かい支援を行いました。		資金貸付相談 1,444件 (前年度 1,481件) ※新規申請件数 総合支援資金 0件 福祉費 0件

現状を確認し、滞納理由に応じた支援や償還方法などについて県社協と協議を行います。				教育支援資金 0件 緊急小口資金 2件
(4)生活困窮者自立支援事業		予算額 400,000 円	収入額 400,000 円	支出額 400,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
○東部生活自立支援センターと連携のもと、生活保護に至らない生活困窮者に対し経済的自立や社会的自立など、本人の状態に応じた自立支援に努めます。また、相談者の中で、食べ物に困っている方や喫緊に生活上の困難に直面している方に緊急的食料支援を行う「フードバンク事業」の実施に向けて調査・研究を行います。	通年	・東部生活自立支援センターやハローワーク等と連携し適切な支援を行いました。 ・生活緊迫ニーズへの緊急食料支援として「フードネーション」を立上げ、食料支援と合わせ、困窮者の生活立て直しと経済的・社会的自立支援に努めました。	東部生活自立支援センター 巡回訪問 12回 魚津市支援調整会議 7回 新川地域生活保護受給者就労自立促進事業協議会 食料提供登録企業 1社 " 個人 5人 フードネーション支援 32回	
(5)法人後見推進事業		予算額 400,000 円	収入額 400,000 円	支出額 400,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
○認知症や障がいなどで判断能力が不十分な方を支援するため、魚津市社会福祉協議会が成年後見人、保佐人若しくは補助人となり、判断能力が不十分な方の保護・支援を行います。 ・法人後見体制の強化と被補助人への適切な支援 ・弁護士等関係機関と連携した成年後見制度の普及啓発 ・法人後見推進委員会による受任の適否、後見等業務の助言、指導等	通年 研修会 1回 法人後見推進委員会の開催（年2～3回）	・成年後見制度補助人として、1名の支援を行いました。また、報酬付与の手続きを行い、支援に係る報酬について魚津市から助成給付を受けました。 ・法人後見推進委員会を開催し、被補助人の支援について助言や指導等を受けました。 ・成年後見制度の普及啓発を図るため、法人後見セミナーを開催しました。 テーマ：「知って安心！成年後見制度」 講師：富山地方・家庭裁判所魚津支部主任書記官 富山地方裁判所魚津支部 書記官 ・職員の資質向上のため研修会に参加し、成年後見活用実務や制度利用の促進についての知識習得に努めました。	支援回数 年29回 報酬決定 年120,000円 委員会開催-2回 (9月26日 2月28日) セミナー開催-1回 (1月31日 参加者27人) 成年後見活用実務セミナー (11月3日 1人出席) 市町村職員セミナー (1月22日 1人出席)	

5 共同募金事業サービス区分（収入額：3,606,606円 支出額：3,606,606円）

(1)いきいきサロン活動事業		予算額 100,000 円	収入額 100,000 円	支出額 100,000 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
○地域における集いの場を設け、高齢者や障がい者、或いは、子育て中の方の孤立防止、仲間づくり、心身の健康維持（介護予防）を促進します。 ・サロンの代表者や世話役を対象とした研修会を実施し、情報提供と運営等の課題に対応します。	サロン代表者研修会 年2回開催		・サロン代表者を対象とした研修会を開催したほか、サロン代表者等からのサロン運営に関する相談への支援、情報提供等に努めました。	代表者研修会 9月5日(水) 90人参加 2月27日(水) 99人参加
(2)地区社協活動推進事業		予算額 1,006,000 円	収入額 1,006,000 円	支出額 1,006,000 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
○地区社協の活動を支援し、小地域福祉活動を推進します。	通年		・13地区社協の小地域福祉活動計画に基づく活動が推進されるよう支援しました。	
(3)福祉でまちづくり活性化事業		予算額 506,000 円	収入額 506,000 円	支出額 506,000 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
○地域住民が会する場をもち、福祉の相互理解や意識の啓発を図るとともに、福祉に関する担い手の育成や生きがいの創出等を図ります。 ・地区社協やサロンが、行事の参加を募るためのチラシ等の作り方を学ぶパソコン教室を開催します。 ○「ちいき食堂」の開設に向け、準備期間として賛同者とともに諸課題の対応策を検討します。 ・子どもから高齢者までが集うことで、世代間交流の場とします。 ・食をともにすることで、欠食や孤食からくる偏食予防や食育の推進、生活困窮対策に努めます。	通年 6月から全3回コース（予定）		・地区社協役員、サロン代表者を対象としたパソコン教室を2回開催しました。 ・魚津市まちづくりフォーラムでは、企画会議への参加、当日はパネル展示を実施し「あんしんカード」を周知しました。 ・「ちいき食堂」の開催に向けて設立準備会議を開催しました。滑川市社協の地域食堂「たんぼぼ」、「高岡市オタヤこども食堂」等の視察研修等を行い、3月に第1回目の「ちいき食堂」を多くのボランティアの方々の協力を得て開催しました。	パソコン教室の開催 2回 まちづくりフォーラム 2月17日 新川文化ホール ちいき食堂（あったか食堂） 設立準備会議-8回 第1回目 3月9日 旧村木小学校内 来場者 155人 協力ボランティア 45人
(4)買い物サービス支援事業		予算額 99,000 円	収入額 99,000 円	支出額 99,000 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
○買い物に行けない方など、地域の課題に対して地域の	新規開催地区社協対		・上野方地区において、移動注文販売形式による買	モデル実施

実情に合った買い物サービス支援事業を実施します。		象	い物支援サービスのモデル的实施を検討・実施しました。	3月11日
⑨(5)支え合いマップづくり事業		予算額 100,000 円	収入額 100,000 円	支出額 100,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
<ul style="list-style-type: none"> ・上野方地区、道下地区で「支え合いマップづくり」を進めます。 ・昨年度作成された加積地区の更新について支援しません。 			<ul style="list-style-type: none"> ・上野方地区、道下地区でのささえあいマップづくりを実施するとともに、加積地区でマップの更新作業を支援しました。 ・経田地区では、マップづくりに関する説明会を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 上野方（全町内作成） 道下（1町内を除く） 加積地区（全町内更新） 経田地区説明会の開催 3月4日 経田公民館
(6)社会福祉大会開催事業		予算額 800,000 円	収入額 795,606 円	支出額 795,606 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
<ul style="list-style-type: none"> ○市内福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の諸情勢について理解を深める場を提供します。 ・第67回魚津市社会福祉大会を開催します。(映画 劔岳点の記を上映) 	8月18日（土） 目標参加者：300名		<ul style="list-style-type: none"> ・市民や福祉関係者約250人参加のもと、第67回魚津市社会福祉大会を新川文化ホールで開催しました。 ・多年にわたり社会福祉の発展に貢献された方々の表彰のほか、議事では参加者総意により大会宣言の承認、大会決議を採択し、「だれもが住み慣れたこの魚津市で安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け、努力することを誓いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年8月18日開（土） 会長表彰（個人21名・3団体） 感謝状（個人14名・4団体） 映画上映：劔岳～点の記～
(7)広報啓発活動事業		予算額 1,000,000 円	収入額 1,000,000 円	支出額 1,000,000 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
<ul style="list-style-type: none"> ○本会の活動がより見える、見やすい広報活動を展開します。 ・義務化された経営情報の閲覧・公表を確実に実施し、経営の透明性を確保します。 ・地域住民からの信頼や協力を得られるよう、効果や成果の見せ方を研究し、広報誌の効果的な紙面づくりに努めます。 ・イメージキャラクターを活用しホームページのリニューアルを図り、より親しみやすい広報活動に努めます。 	社協だより発行 （奇数月発行） 年6回		<ul style="list-style-type: none"> ・本会の経営の透明性確保に向け、広報誌及びホームページで予算・決算を公表しました。 ・職員で構成された「広報委員会」で検討を重ね、より分かりやすく親しみやすい広報誌づくりを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ随時更新 広報誌「うおづ社協だより」年6回発行

・若い世代にアプローチするためのFacebook等の導入について検討、実施します。			
---	--	--	--

6 ⑧ 生きがい推進事業サービス区分（収入額：26,208,928円 支出額：26,046,102円）

(1)旧福祉センター維持管理事業	予算額 10,731,000円	収入額 10,731,000円	支出額 10,731,000円
旧百楽荘維持管理事業	予算額 7,869,000円	収入額 7,869,000円	支出額 7,869,000円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○老人福祉センター機能の維持に加えて、地域で暮らす人々が、それぞれの希望や能力に応じて、生きがいを感じながら元気に活躍できる機会を拡大します。 ○施設の維持管理と管理経費の節減に努めながら効率的に管理します。 ・開館は、火曜日から土曜日までの9:00から15:30までとします。(国民の祝日、お盆、年末年始は休館とします。)	通年 利用者数：8,000人	・おたっしや介護予防教室の拠点として、生きがいを感じて元気に活躍できる施設の提供に努めました。 ・施設の維持管理と経費節減に努めながら、効率的に管理しました。	利用者数：8,379人 (前年度 8,364人) 年10回
旧経田福祉センター維持管理事業	予算額 2,862,000円	収入額 2,862,000円	支出額 2,862,000円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
・開館は、火曜日、木曜日、土曜日の9:00から15:30までとします。(国民の祝日、お盆、年末年始は休館とします。)	通年 利用者数：3,000人	・高齢者の交流の場を提供し、介護予防や生きがいづくりに努めました。	利用者数：3,898人 (前年度 7,569人) ※開館日 H29 週6日 H30 週3日
(2)旧百楽荘活用事業	予算額 4,681,000円	収入額 4,107,725円	支出額 4,107,725円
(3)旧経田福祉センター活用事業	予算額 147,000円	収入額 137,210円	支出額 137,210円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
・ランチカフェ(5月)、認知症サポーター講座(7月)、フラワーアレンジメント(12月)、ちいき食堂(未定)の開催など、様々な世代を通して、同じ趣味を持つ仲間との交流・憩いの場を提供します。		・地域で暮らす様々な世代の人々が、気軽に参加できるイベントを企画し、交流・憩いの場を提供しました。 (旧百楽荘) ベビーアロママッサージ：7月2日	母子10組

		敬老のつどい：9月22日 認知症サポーター養成講座：10月18日 おたっしやカフェ：11月17日 フラワーアレンジメント教室：12月11日 新年交流会：1月25日 (旧経田福祉センター) 演芸の集い：年12回 かもめ児童センターとの交流会：3月28日	63人 27人 9人 59人
(4)通所型介護予防事業	予算額 11,441,000 円	収入額 11,232,993 円	支出額 11,070,167 円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○拠点となっていた旧福祉センターをそれぞれ新金屋教室(旧百楽荘)、経田教室(旧福祉センター)と改め、おたっしや介護予防教室の拡充に努めます。</p> <p>新金屋教室：火曜日から土曜日まで開催 経田教室：火曜日、木曜日、土曜日に開催</p> <p>○介護予防体操、創作教室、レクリエーションなど高齢者が自由に参加できる教室を開催し、生きがいづくりや健康寿命の延伸に努めます。</p> <p>・魅力があり、参加したくなるおたっしや介護予防教室を開催します。</p> <p>体操：健康チェック、ストレッチ体操、筋力アップ体操、失禁予防体操 創作教室：押し絵、貼り絵、折り紙、絵手紙、書道、俳句など 脳トレ：健康マージャン、花札クラブ、まちがい探しなど カラオケ教室：うたごえクラブ 栄養改善料理教室：低栄養予防や食生活のアドバイス</p> <p>・介護予防の取り組みの重要性を周知します。(広報媒体・出張サロン) ・市と連携して健康寿命の延伸に取り組みます。(脳まめなけクラブなど)</p>	<p>通年 参加者数：20,000人</p> <p>介護予防教室発表会(6月) 絵手紙教室展示会(秋)</p> <p>通年 随時</p>	<p>・新金屋教室・経田教室とし、高齢者の生きがいづくりや健康寿命の延伸のため、おたっしや介護予防教室の拡充に努めました。</p> <p>(内容) バイタルチェック 体操・認知症レクリエーション 創作・趣味・認知症予防(脳トレ) 栄養改善料理教室 新規の取り組み：ぬり絵教室、手芸教室</p> <p>・介護予防教室成果発表会を開催しました。 6月23日</p> <p>・野外でチャレンジ 年2回(春と夏) 春：5月22日 富岩運河・県美術館 5月24日 富岩運河・県美術館 秋：10月30日 八尾観光会館 11月8日 八尾観光会館</p> <p>・富山銀行魚津支店にて絵手紙展を開催したり、NICE-TVを活用し、介護予防の重要性を周知しました。</p> <p>・市と連携して、脳まめなけクラブのスタッフとして、健康寿命の延伸に取り組みました。</p> <p>・コミュニティバスが運行していない地域に、介護</p>	<p>延参加者数：24,280人 (内訳)</p> <p>3,943人 13,766人 5,773人 798人</p> <p>参加者：150人</p> <p>新金屋：参加者24人 経田：参加者22人 新金屋：参加者17人 経田：参加者20人</p> <p>9月18日～10月5日 放映：4月と5月 4月～8月：16人</p> <p>平成30年10月～ 平成31年2月：17人</p>

		予防教室参加者のための送迎バスを運行しました。	石垣新：年50回 270人 片貝・加積：50回 452人 西布施：48回 279人
--	--	-------------------------	---

2 児童センター拠点 (収入額：75,458,306円 支出額：74,616,939円)

1 児童センター管理経営事業サービス区分 (収入額：48,776,135円 支出額：47,932,338円)

(1)児童センター管理経営事業		予算額 48,692,000 円	収入額 48,776,135 円	支出額 47,932,338 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
○健全な遊びを通して児童の心身の健康を増進し情操を豊かにするため、魅力ある遊びのプログラムや行事を企画し運営します。 ・各センターが地域に根ざした活動を行い、子どもたちが主体的に活動ができる場を提供します。 ・各センターで「フェスタ」を行い、地域へ活動の周知を図ります。	来館者数：68,000人	・各センターで地域の特色やボランティア等の人材を活かした行事を開催しました。 【かもめ】昔の遊びに挑戦 92人 高校生とやきやきバーベキュー 53人 【つばめ】防犯教室 81人 中学生と焼きそばパーティー 20人 【ひばり】公民館でクッキング 20人 いらっしやい東部デイさん 12人 【すずめ】中学生とやきそばパーティー 20人 身障デイで交流会 5人 ・子どもたちが主体的に活動する場となる「フェスタ」を開催しました。 【かもめ】 10月 6日(土) 121人参加 【つばめ】 9月22日(土) 262人参加 【ひばり】 9月 1日(土) 249人参加 【すずめ】 10月20日(土) 329人参加		来館者数：68,341人 かもめ：12,884人 つばめ：20,284人 ひばり：17,054人 すずめ：18,119人 (前年度実績) 来館者数：72,311人 こばと：5,982人 かもめ：11,400人 つばめ：22,085人 ひばり：16,001人 すずめ：16,478人

2 放課後児童健全育成事業サービス区分 (収入額：21,172,831円 支出額：21,172,831円)

(1)放課後児童健全育成事業		予算額 21,252,000 円	収入額 21,172,831 円	支出額 21,172,831 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等

<p>○下校後に保護者が仕事等で家庭にいない児童を対象に、遊びと生活の支援を行い、健全な育成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、学校、地域等関係機関との連携を図り、児童の情報共有に努めます。 ・放課後児童支援員の資質向上を目指し、専門性を高めます。 	<p>通年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮しながら、子どもたちが主体的に遊んだり、生活できるような支援に努めました。 ・保護者と密に連携を取るとともに、学校とも連携し、子どもの生活の連続性を保障するための支援に努めました。 ・放課後児童支援員認定資格取得研修会へ参加し、職員の資質向上に努めました。 ・利用児童保護者に対するオリエンテーションを行い、放課後児童クラブでの過ごし方等の周知を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間5回参加 支援員資格取得者8人 ・年間利用者数 延利用者数：49,790人 かもめ：8,040人 つばめ：16,123人 ひばり：12,822人 すずめ：12,805人 <p>(前年度実績)</p> <p>延利用者数：51,058人</p> <p>こばと：2,338人 かもめ：7,387人 つばめ：16,577人 ひばり：12,286人 すずめ：12,470人</p>
---	-----------	--	--

3 地域子育て支援事業サービス区分 (収入額：5,509,340円 支出額：5,509,340円)

(1)地域子育て支援事業		予算額 5,577,000円	収入額 5,509,340円	支出額 5,509,340円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
<p>○子育て中の親子が気軽に集い交流できる場を提供し、子育ての不安・悩みを解消できるよう支援に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを把握し、活動内容に反映させます。 ・親子の居場所づくりのため、また来たいと思える環境整備に努めます。 	<p>通年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活に入る前の6か月～3歳児を対象に子ども同士・親同士の交流の場や遊び等を提供しました。 ・講師を迎えて、虫歯予防教室やママカフェなどの子育てに関する情報提供や、親自身のリフレッシュとなる講座を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数 【親子教室】幼児：1,544人 保護者：1,484人 【ひろば】幼児：755人 保護者：722人 <p>(前年度)</p> <p>【親子教室】幼児：1,835人 保護者：1,617人 【ひろば】幼児：998人 保護者：868人</p>	

3 障害福祉サービス拠点（収入額：83,861,358円 支出額：83,833,225円）

1 障害者交流センター管理経営事業サービス区分（収入額：4,006,815円 支出額：3,978,682円）

(1)障害者交流センター管理経営事業		予算額 4,012,000 円	収入額 4,006,815 円	支出額 3,978,682 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○障がい者の自立促進、社会参加の促進、身体機能の向上等を図るとともに、障がいのある方々を支える家族、ボランティア、地域住民の憩いの場所として支援します。</p> <p>・障がい者や家族、地域住民が参加できる活動支援を行います。</p> <p>・交流センターの情報を発信し、休館日の変更等を検討し利用者増を目指します。</p> <p>・障がい者の参加するレクリエーション活動を開催し、障がい者の余暇支援を提案します。</p>	<p>通年 利用者数 8,800人</p> <p>おたより 6回/年 1回/月</p>	<p>・交流センターだより等を関係機関に配布し、イベント案内や情報提供を行い、利用者増に努めました。</p> <p>・「はびねすくらぶ」を開催し、レクリエーションや工作教室を通じ障がい者当事者や家族の交流を行いました。</p> <p>・「ダンス教室」を継続的に開催し、月2回の練習の他、地域のイベント等でダンスを披露しました。</p>		<p>来館者数：8,223人 （前年度実績 8,623人）</p> <p>おたより 6回/年 はびねすくらぶ 9回/年</p> <p>ダンス教室 24回/年 参加者 17人</p>

2 障害者地域生活支援事業サービス区分（収入額：14,856,617円 支出額：14,856,617円）

(1)障がい者相談支援事業		予算額 14,230,000 円	収入額 13,957,177 円	支出額 13,957,177 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○障がい者やその家族等からの様々な相談に応じ、必要な情報提供や助言、障害福祉サービスの利用支援等に努め、障がい者の自立した日常生活および社会生活を支援します。</p> <p>・定期的なサービス等利用計画書の作成とモニタリングを実施します。</p> <p>○相談支援専門員のスキルアップをめざします。</p>	<p>通年</p> <p>研修等</p>	<p>・障がいのある方や家族からの様々な相談に応じ、自立した日常生活、社会生活支援を行いました。</p> <p>・相談支援専門員の資質向上のため、研修等に参加しました。</p> <p>・福祉サービス利用者の計画作成とモニタリングを定期的に行いました。</p>		<p>委託相談件数：542件 計画相談：144件 モニタリング：94件</p> <p>（前年度） 相談件数：807件 計画相談：114件 モニタリング：51件</p>
(2)手話・朗読奉仕員養成事業		予算額 648,000 円	収入額 619,440 円	支出額 619,440 円
年度計画			30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○聴覚障がい者の自立や社会参加を促進するために必要なコミュニケーション支援を行う手話奉仕員の養成を支</p>	<p>手話教室 20回 5月～10月</p>	<p>・5～10月 市民手話教室入門講座(全20回)、音訳ボランティア養成講座(全10回)を開催しました。講座</p>		<p>入門講座 20回 10人受講（修了者 7人）</p>

援します。 ・魚津市民手話教室（入門講座）を開催します。 ○視覚障がい者の自立や社会参加のために、音声による情報提供を推進するために音訳ボランティアの養成を支援します。 ・朗読奉仕員（音訳ボランティア）養成講座を開催します。	音訳ボランティア 10回 6月～11月	終了後もボランティアサークルに参加し、意欲的に活動される方もいました。	音訳講座 10回 8人受講
(3)障害者IT推進員派遣事業	予算額 280,000 円	収入額 280,000 円	支出額 280,000 円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○障がい者のパソコン等の使用に関する相談や援助を行い、社会参加を促進します。 ・交流センターでパソコン教室を開催します。	パソコン教室 毎月 第2土曜日	・障害者交流センターで月2回、パソコン教室を開催しました。パソコンの技術だけでなく、障がい者の交流の場として活用しました。	パソコン教室 毎月第4土曜日に開催

3 グループホーム大光寺事業サービス区分（収入額：8,523,002円 支出額：8,523,002円）

(1)グループホーム大光寺事業	予算額 9,618,000 円	収入額 8,523,002 円	支出額 8,523,002 円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○利用者がその人らしい生活を送れるように個別支援計画を立て支援しながら、入居者が地域で自立した生活を送ることができるよう支援します。 ・支援員、世話人のスキルアップをめざし、研修等に参加します。	通年 研修 2回/年	・利用者（知的障がい者の男性6人）に対し個別支援計画を立て、どの職員も同じ支援ができるように定期的なミーティングや情報交換のもと、支援を行いました。 ・「新川自立支援協議会 障がい者の支援についての世話人研修会」に参加し、障がい者の特性や関わり方を学びました。	ミーティング 月1回

4 つくし学園管理経営事業サービス区分（収入額：56,474,924円 支出額：56,474,924円）

(1)つくし学園管理経営事業	予算額 56,737,000 円	収入額 56,474,924 円	支出額 56,474,924 円
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等

<p>新川地域の中核的な児童発達支援センターとして、「発達支援」「家族支援」「地域支援」が専門的に行える施設づくりを行います。また、地域のニーズを敏感にとらえ子どもたちが健やかに育つことができる地域支援体制の整備に努めます。</p> <p>○児童発達支援事業（通園部） 障がい（発達障がいを含む）のある未就学児が通所し、食事や着替えなど日常生活における基本動作の指導や、集団生活に適應できるよう支援します。 ・子どもらしい体験ができる機会を確保し、家族とともに子どもの育ちを支えます。 ・医療的ケアの必要な子どもとその家族を支える体制づくりに努めます。 ・質の高いサービス提供を行うため職員の人材育成に努めます。</p> <p>○保育所等訪問支援事業 発達に支援が必要な子ども達が通う保育園等を訪問し、集団生活に適應できるよう支援します。 ・ニーズに対応できる人材育成に努めます。</p> <p>○障害児相談支援事業 障がいのある子供たちやその家族が、地域で安心して、希望をもって暮らしていくための方法を一緒に考えながらサービス利用計画書を作成します。 ・様々なニーズや課題に対応するため、新川地域自立支援協議会等の関係機関と連携し、社会資源の開発に努めます。</p> <p>○障害児等療育支援事業 子どもたちの発達支援を行う拠点施設として、発達支援や相談支援を行います。 ・個別療育、集団でのグループ療育（りんご教室）を实</p>	<p>開所日：月～金 定 員：20名 ケース会議 年12回 個別支援計画作成会議 年3回 園内研修（事業所合同研修含）年6回 園外研修：年5回 園内研修：年6回</p> <p>通年 訪問件数：30件/月 通年 計画作成件数：50件</p> <p>新川地域自立支援協議会 年6回</p> <p>個別支援会議：年6回 個別支援目標の共有（全体会議）：年3回</p>	<p>【児童発達支援事業（通園部）】 ・園児の発達段階、健康状態をきめ細かく把握し一人一人に合わせた発達支援を目的に安全な園運営に努めました。毎日の遊びや療育活動、園外指導や公共機関の利用を通じ、身辺自立やコミュニケーション、集団活動への参加などの地域で暮らしていくためのスキルを身につける支援を行いました。 ・園児の受け入れを8時から16時30分まで行ったほか、降園後利用できる預かりサービスを調整するなど、家族ニーズに応じたサービス提供に努めました。 ・サービスの質の向上を目的に保護者へのアンケート調査を実施しました。あわせて事業者自己評価を行い、その結果を当会ホームページに掲載しました。 ・日常的な相談、家庭訪問、個別面談、保護者サロンの開催など家族支援に積極的に努めました。また、きょうだい児サロンを開催し、きょうだい同士の交流に努めました。</p> <p>【保育所等訪問支援事業】 訪問支援員を1名増員し、保育園、放課後児童クラブでの支援を行いました。</p> <p>【障害児相談支援事業】 ・本人の思いや家族のニーズに沿ったサービス等利用計画の作成を行いました。 ・新川地域自立支援協議会児童部会の幹事として地域課題の整理や解決に向けた取り組みを行いました。また、関係機関と連携し発達障害児研修会の開催、新川地域における医療的ケア児のネットワーク体制整備を行いました。</p> <p>【障害児等療育支援事業】 新川地域における中核的な児童発達支援センターとして、地域で安心して暮らしていくための体制づくりに努めました。</p>	<p>契約園児数：24人 開所日数：242日 延利用者数：4,626人 （前年度実績） 契約園児数：24人 開所日数：242日 延利用者数：4,512人</p> <p>園内事例検討会：12回 社協内事業所合同研修会：5回</p> <p>保護者サロン：年12回</p> <p>登録者数：14人 延利用者数：213人</p> <p>サービス等利用計画作成 契約者数 53人</p> <p>新川地域自立支援協議会 児童部会 年6回</p> <p>個別相談：356件</p>
--	--	---	---

<p>施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、保健センター等へ訪問し、職員とともに療育支援方法を考えます。 ・ソーシャルワーク機能の充実化を図り、地域に求められる児童発達支援センターとしての体制整備に努めます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や保健センターに出向いての相談、土曜日の相談対応など保護者の集いに合わせて相談を行うなど相談しやすい環境を整えました。 ・参加希望者の増加に応じてリンゴ教室のグループ数を1グループ増やしニーズ対応しました。 	<p>グループ療育(リンゴ教室): 延74回(369人) 施設(保育園等)支援: 49件</p>
---	--	---	--

5 介護保険サービス拠点 (収入額: 437,649,047円 支出額: 286,417,114円)

1 ホームヘルプステーション事業サービス区分 (収入額: 159,329,770円 支出額: 102,371,980円)

(1)ホームヘルプステーション事業		収入額 159,329,770円 支出額 102,371,980円	
年度計画		30年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○要介護の方、障がいのある方などが、地域で安心して自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の自宅を訪問し、身体介護その他生活全般にわたり援助を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ効率的・柔軟性のある質の高いサービスを提供します。 ・サービスの多様化に対応できる人材育成に努めます。 ・多様なサービス提供により利用者確保と安定した経営に努めます。 ・利用者のニーズに応じたサービスが提供できるよう努めます。 <p>(12月29日から1月3日を除く毎日営業)</p>	<p>目標延訪問回数: 30,500件 (前年度目標30,000件+500件)</p> <p>訪問介護: 17,690件 総合: 5,000件 障害: 6,960件 私的: 850件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護の需要が高まる中、緊急時の迅速な対応や利用者ニーズ・自立支援を重視したサービス提供に取り組みました。 ・多様化するニーズに適切に対応するため、多職種との連携強化や年間研修計画に基づく事業所内・外研修会に積極的に参加し、資質向上に努めました。 ・サービス提供実績は、今年度目標値に対し933件増(2.1%増)の結果となりました。また、前年度実績と比べて44件増(0.1%増)となり、介護保険事業収益は4.6%増、障害福祉サービス等事業収益は5.4%減となりました。 	<p>12月29日～1月3日を除く毎日営業</p> <p>延訪問件数: 31,433件 訪問介護: 19,042件 総合: 5,289件 障害: 6,661件 (同行、移動支援含む) 私的: 441件</p> <p>(前年度実績)</p> <p>延訪問件数: 31,389件 訪問介護: 18,148件 総合: 4,941件 障害: 7,436件 (同行、移動支援を含む) 私的: 864件</p>

2 東部デイサービスセンター事業サービス区分（収入額：133,926,299円 支出額：94,682,955円）

(1)東部デイサービスセンター事業		予算額 133,609,000 円	収入額 133,926,299 円	支出額 94,682,955 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○自宅に閉じこもりがちの要介護者の社会的孤立を軽減し、食事・入浴・排泄介助など日常生活等の援助を行います。</p> <p>・心身機能の維持回復だけではなく家族介護の負担軽減を目的に支援します。</p> <p>・特に認知症の方に有効なレクリエーション活動や対応支援を通じ、進行予防や周辺症状の緩和に努めます。</p>	<p>利用定員：35名 目標延利用者数：10,020人 (前年度目標9,980人・+40人)</p> <p>総合 1,540人 通所 4,800人 認知 3,680人</p>	<p>・運営推進会議を年2回開催し、利用者ニーズ、地域課題に応じたサービス提供に努めました。</p> <p>・認知症基礎研修などの外部研修や社内研修を数回にわたり行い職員の資質向上に努めました。</p> <p>・サービス提供実績は、総合事業は15人増(0.9%増)となりましたが認知症対応型11人減(0.2%減)、通所介護76人減(1.5%減)となり、全体目標値には至りませんでした。また、前年度実績と比べて通所介護は28人増(0.5%増)、認知症対応型は16人増(0.4%増)、総合事業は162人増(11.6%増)となり、介護保険事業収益は2.2%増となりました。</p>		<p>12月31日～1月3日を除く毎日営業 営業日361日 利用定員：35人 延利用者数：9,945人 総合：1,555人 通所：4,724人 認知：3,669人 ※1日平均利用 27.5人 (土・日は定員24名)</p> <p>(前年度実績) 延利用者数：9,742人 総合：1,393人 通所：4,696人 認知：3,653人 ※1日平均利用 26.9人</p>

3 身体障害者デイサービス事業サービス区分（収入額：71,927,034円 支出額：47,130,714円）

(1)身体障がい者デイサービス事業		予算額 9,658,000 円	収入額 9,672,750 円	支出額 9,625,106 円
(2)通所介護・生活介護事業		予算額 62,645,000 円	収入額 62,254,284 円	支出額 37,819,528 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等

<p>○在宅で生活する障がいのある方の生活改善・身体機能の維持向上を図るために、通所による創作活動や機能訓練等を提供し、自立と社会参加を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思を尊重し、個性を生かしたサービス提供に努めます。 ・関係機関等との連携を図り、質の高いサービスを提供します。 ・地域住民との交流する活動の充実を図ります。 ・利用者の確保と効率的な運営に努めます。 	<p>利用定員：23名 目標延利用者数：5,020人 (前年度目標5,010人・+10人) 通所 1,320人 総合 440人 生活介護3,050人 デイ210人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人が積極的に社会参加し、生きがいをもち、自立した生活を送れるような支援に努めました。 ・社協内事業所合同ケース検討会や専門機関との連携を図り、質の高いサービス提供に努めました。 ・地域の子供たちや実習生を積極的に受け入れ、障がいのある人たちが地域で暮らすことを支える人づくりに積極的に取り組みました。 ・サービス提供実績は、今年度目標値に対し全体では20人減(0.3%減)となりました。この要因としては利用者の長期入院が考えられます。また、前年度実績と比べて全体で68人減(1.3%減)となり、介護事業収益 10.9%減、障害福祉サービス事業収益8.5%増となりました。 	<p>営業日：日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除く月～土 営業日295日 利用定員：23人 延利用者数：5,000人 障がいデイ：231人 通所：1,092人 総合：482人 生活介護：3,195人 ※1日平均利用 17人 (前年度実績) 延利用者数：5,068人 障がいデイ：215人 通所：1,341人 総合：443人 生活介護：3,069人 ※1日平均利用 17.2人</p>
---	---	---	---

4 居宅介護支援事業サービス区分 (収入額：72,465,944円 支出額：41,917,545円)

(1)居宅介護支援事業		予算額 71,664,000 円	収入額 72,465,944 円	支出額 41,917,545 円
年度計画		30年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
<p>○利用者の尊厳保持や自立支援を重視した公正、中立、誠実なケアマネジメントを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに沿った社協らしいケアマネジメントの実施に努めます。 ・研修会等に参加し、職員の質の向上を図ります。 ・効率的な業務と安定した運営に努めます。 ・介護支援専門員の育成に努めます。 	<p>通年 目標延利用者数：2,760人 (前年度目標2,605人・+155人) 要介護1、2 1,920人 要介護3～5 840人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズや生活スタイルに合わせたその人らしい計画書の作成をし、利用者の尊厳保持や自立支援を重視した公正、中立、誠実なケアマネジメントを実施しました。 ・効率的な業務運営と質の高い支援を行い、地域に 	<p>営業日 祝日及び12月29日～1月3日を除く月～金 延利用者数：2870人 要介護1・2：2039人 要介護3～5：831人 目標達成率 (103%)</p>	

		<p>貢献できるように取り組みました。</p> <p>・ケアプラン作成実績は、今年度目標値に対し110人増(3.9%増)となりました。また、前年度実績と比べて104人増(3.7%増)となり、介護保険事業収益は5.2%増となりました。</p>	<p>(前年度実績)</p> <p>延利用者数：2,766人</p> <p>要介護1・2：1,936人</p> <p>要介護3～5：830人</p>
--	--	--	---